

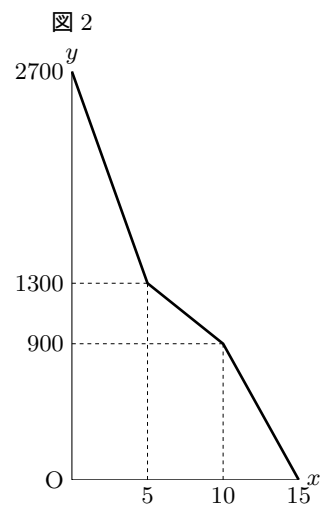
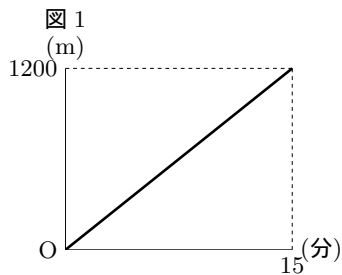
一直線のジョギングコース上に、P地点と、そこから2700m離れたQ地点があり、このコースをP地点からQ地点に向かって1200m進んだところにR地点がある。

AさんとBさんは、同時にP地点を出発し、このコースをR地点までそれぞれ一定の速さで歩いた。BさんはAさんより5分遅くR地点に着いた。

Cさんは、Aさんと同時にQ地点を出発し、このコースをR地点に向かって一定の速さで5分間走った後、5分間休憩し、一定の速さで5分間歩いて、Aさんと同時にR地点に着いた。

図1は、AさんがP地点を出発してからR地点に着くまでの時間とAさんが歩いた距離の関係をグラフに表したものである。

図2は、AさんがP地点を出発してから $x$ 分後の、AさんとCさんの間の距離を $y$ mとすると、AさんがP地点を出発してからR地点に着くまでの $x$ と $y$ の関係をグラフに表したものである。



次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) AさんがP地点を出発してから3分間で歩いた距離を求めなさい。
- (2)  $x$ の変域が $5 \leq x \leq 10$ のとき、 $y$ を $x$ の式で表わしなさい。
- (3) AさんがR地点まで歩く途中で、AさんとBさんの間の距離と、AさんとCさんの間の距離が等しくなるのは、AさんがP地点を出発してから何分後か求めなさい。

〔福岡県〕